

テーマ

**育てよう地域の「輪」・「話」・「和」**

目標

**学習支援、しぶ柿に学ぶ、環境整備、行事支援**

## 今年度の取組紹介

- 新着任教職員研修会（5月と1月）・・・昨年度の反省にたち、1度ではなく2度開催することで、子どもたちや、校区の活動、地域の様子を知る中で、自分の体験を語り、お互いに学び合うよいきっかけになった。来年度もぜひ継続させたい。
- 柿しぶクッキーの製作と販売。柿しぶ染め・・・今年度は児童・生徒らが企画・立案に参加し、保護者・教職員・公民館職員とともに、クッキーを整形、焼き、包装、販売と忙しく活動を行いました。思い思いに描いた柿しぶ染めの作品は、プロも舌をまくほどの出来映え?!であった。この活動から、年とともに、活動を通して子どもたちのつながりがより深まってきたように思います。
- 8月の柿しぶ染めや柿しぶクッキーの材料となる青々した渋柿（法蓮坊）の採集と10月のつるし柿用の柿の採集には、昔ながらの手作りの道具を使い、子どもたちの大歓声の中で行われました。
- 学習支援では、毎週月曜の放課後の寺子屋や夏・冬休みの宿題助け隊も、スマイリーで地域のボランティアの方々の支援の下に順調に実施されるようになりました。取組が定着しています。
- 総合的な学習の支援活動では、世界遺産学習「英語で世界遺産を紹介」で本来のNGKのメンバー以外に、天理大学の学生と地域のボランティアの方々も交えて実施しました。
- 11月28日土曜、快晴の下に通学路の清掃を兼ねて集められたゴミが中学校に積み上げられ、その後に、生徒会の生徒も加わり、防災訓練を兼ねた恒例の豚汁炊き出し。3基のかまどベンチがフル回転、用意された400食が短時間で完食となりました。同時にスマイリーでは正月用の祝箸袋とハタキ作りが行われ、参加者から、良い正月を迎える準備ができたと好評でした。
- 広報活動での広報紙「スマイリーニュース」発行と校門前の掲示板の設置。

**追記 交流の集いのポスターセッションでは日頃の会議の雰囲気  
の再現と今後の集いの持ち方  
に対する鋭い意見も出された。**



## 今年度のまとめ

- ◎5月と1月の新着任教員研修会。◎学習支援プロジェクト（寺子屋、宿題助け隊）。
- ◎柿プロジェクト（渋柿採集、柿しぶクッキー作りと販売、柿しぶ染）。
- ◎小学校の家庭科支援。
- ◎さわやかクリーンデー実施（校区内清掃で校区を知る）。◎かまどベンチ活用（防災訓練で炊出し）

## 来年度に向けて

今年度の取組の継続と、実施内容が充実するように、反省をふまえて中身を丁寧に再検討します。

テーマ

**豊かな人間性の育成**

目標

**大きな舞台での発表や職場体験等で、豊かな人間性を育成する。**

今年度の取組紹介

**〈教育環境整備事業〉**

美しい学習環境を作るために、毎年、1年生と2年生全員、一人1台のプランターに地域ボランティアの協力を得ながら美しい花苗を移植し、それを育てる取組を実施してきました。今年はキンモクセイとパンジーを育て、環境や生き物を大切にできる豊かな心をもつ生徒を育成する取組を進めています。

**〈仕事の専門家から生き方を学ぶ〉**

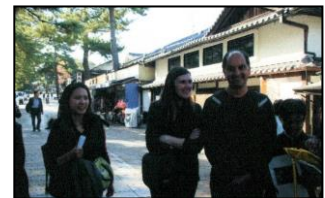
7月に、実際に現場で活躍されている8名の講師をむかえて、働くことのすばらしさ、厳しさを教えていただき、職場体験学習に役立つ取り組みを継続してきました。現場の生の声を聞くことで、自分の進路を考えるきっかけと社会人としての意識や態度を学ぶ機会になっています。

**〈大舞台体験事業〉**

今年は9月25日に県文化会館を貸し切り、クラス対抗の合唱コンクールと文化部の発表会を実施しました。多くの保護者や地域の方々の応援の下、好評のうちに充実した1日が終了しました。

**〈世界遺産学習「英語で世界遺産を紹介」〉**

新しい取り組みとして、1年生が習いたての英語を使い奈良公園で外国人に英語でインタビューを行う取組をNGKと大学生、地ボランティアの協力の下で、事前学習をじっくり行い当日に臨みました。好天にも恵まれそれぞれ貴重な体験となり、世界遺産の大切さと英語学習の重要性を学ぶきっかけとなりました。

**〈英語で世界遺産を紹介〉**

今年度のまとめ

- 「教育環境整備事業」では花いっぱいの美しい環境の学校づくりを行うために、地域ボランティアの方々の協力得て花苗の移植を行い、豊かな感性を育てる取り組みとなっています。
- 「大舞台体験事業」では日頃の学習の成果を地域の方々に公開できる機会と、それに取り組む中でクラス全員で一つの目標に向かうことで、多くのことを学ぶきっかけづくりとなりました。
- 「仕事の専門家から生き方を学ぶ」の取組は、職場体験学習を行う前に進路について考え、社会人としてのマナーを学ぶきっかけとなり、教科学習にない貴重な体験となりました。

来年度に向けて

- 総合的な学習の取り組みとして「英語で世界遺産を紹介」が新たな取り組みの一つになっています。ここでは世界遺産学習も兼ねながら、地域ボランティアの協力の下で実施されています。多くの取り組みを実施し、校区全体で生徒を育て、未来を担う人間の育成に努めたいと思います。

テーマ

**やる気・元気・優しさあふれる青和っ子プラン**

目標

**学校・家庭・地域が協働して子どもをはぐくみ、地域との絆を深める。**

## 今年度の取組紹介

本年度も、確かな学力を身に付けるため、豊かな体験を通して学ぶ授業を重視し、地域のボランティアやゲストティーチャーの方々の支援を受けながら、子どもたちの生きる力を育む取組を進めてきました。



今年度はさらに学習支援の幅が広がりました。その一つとして、高学年で行った家庭科支援です。地域のコーディネーターやボランティアの方々に、5・6年で学習する「裁縫学習」の支援に携わっていただきました。特に5年生の子どもたちにとっては、針やミシンを初めて使う子がほとんどで、悪戦苦闘しながらも、優しくアドバイスや手助けくださるコーディネーターやボランティアの方々のサポートを受けて、楽しく「小物づくり」や「ナップザック」作りができました。

環境整備事業として、地域や保護者の方々が多数参加して行った「ふれあい清掃」では、校内の木の剪定や除草作業、さらに窓ふき作業もしていただき、子どもたちも地域の方々とともに、除草作業に取り組み、きれいな学校作りに向けて協働できました。

また3学期には、地域やPTAの方々の協力のもと、5年生の防災教育の一環としての「かまどベンチ作り」に取り組みました。最初に、地域の防災の取組や身近にできる防災対策、かまどベンチの役割などについてお話を聞いた後、クラス毎に、セメントを練ってレンガを積みました。子ども



たちは初めての体験で中々要領がつかめない中、地域の方の作業を見たり、手助けをしてもらったりしながら、楽しく協力して製作できました。また、「かまどベンチ作り」と兼行して青和小に設置してある防災倉庫の見学も行い、貴重な体験となりました。



## 今年度のまとめ

このように、学校・保護者・地域が協働して様々な取組を推進してきました。毎朝、交通安全ボランティアの方々による見守り活動を通して、子どもたちは、安心安全のもと、元気なあいさつを交わし、心のふれあいも広がりました。また、家庭科支援やゲストティーチャーを招いての体験学習、図書ボランティアの方の読書活動など、学校・保護者・地域が協働して育んだことで、子どもたちに学ぶ楽しさを体感させ、豊かな心と確かな学力を育む取組ができました。また、昨年度同様にホームページや学校だよりにより、学校と地域の連携の様子を詳しく知らせることで、地域との連携をより多くの方に理解してもらえたことも成果となりました。

## 来年度に向けて

地域連携による子どもの育成をテーマとし、事業を推進してきました。地域の様々な場面で活躍されている方々の支援を受けながら交流を行い、学校・家庭・地域が協働して子どもたちを育むことができました。そして、地域との絆も深めることができました。今後、学校と地域の連携をさらに強化するために、コーディネーターやボランティアの方々と教職員との交流を深め、地域との輪が一層広がっていくようにしていきたいと考えています。



テーマ

**地域で育ち、地域に学び、地域とつながる二名っ子**

目標

人との出会いを大切にし、児童相互が励まし合い、思いやりの心をもって豊かな人間関係を築き、自らも地域の一員であるという意識を醸成する。

## 今年度の取組紹介

## 〈環境整備活動支援〉

毎年、9月の運動会に向けて、学校の周辺及び運動場の環境整備を地域の方々、PTAにご協力いただいています。今年は、8月28日、まだ厳しい残暑の中、本校の環境整備ボランティア「木こり隊」の皆さんが生い茂っている雑草や木を刈り取っていただきました。翌日の29日には親子清掃を実施し、PTA、児童、教職員をはじめ、「二名小学校区スポーツ協会」、地域のボランティアの方々とで、力を合わせて収集は、秋晴れの下、きれいになった運動場で、整備してくださった皆さんに感謝の気持ちを込めて、秋祭りに参加することができました。また、10月30日には花いっぱい運動会を実施し、児童会や園芸委員会の児童と一緒にパンジー、ビオラ、ナデシコなどを植えました。



## 〈体力向上事業 ふれあい交流〉

毎年、夏休みに実施している「水泳教室」の他、「二名小学校区スポーツ協会」と「にみょうきつずくらぶ」の連携により、「歩こう会」や「ダブルダッチに挑戦しよう」、「ミニ運動会」が実施されています。参加者が増え、盛況になってきています。児童と地域の方々が、スポーツを楽しみながら親睦を深めることのできる貴重な機会となっています。



歩こう会

## 今年度のまとめ

- 図書ボランティアの方に読み聞かせや、おはなし会、図書室の環境整備をしていただき、児童は読書の楽しさや面白さをより一層味わうことができ、豊かな心と言語力を育てました。
- 「にみょうきつずくらぶ」や「スポーツ協会」等各種団体との連携、協力により、自発的に運動をする児童が増え、体を動かすことの楽しさを感じながら体力向上を目指す取組ができました。
- 地域の方々とのふれあいの中で、見守られているという安心感、お世話になっていることへの感謝の気持ちを抱くようになり、児童自らがあいさつしたり話しかけたりするなど、本校児童の課題であるコミュニケーション能力の育成に効果をもたらしています。

## 来年度に向けて

- 学校の教育活動を支援していただいている各種団体や地域人材との連携を強化し、地域の力を活用できるようにするため、コーディネーターやボランティアの方々や教職員との交流を深めるとともに、校務分掌に地域連携担当教員を複数配置して、その取組を活性化させることが必要です。

## テーマ ふれあい つながりあい 育ち合い笑顔あふれるこども園

- 目標
- ・魅力ある園環境をつくり、子どもたちが自らかかわり、意欲的に活動する子どもを育てる。
  - ・地域の方と触れ合い、人とかかわる楽しさや感謝の気持ちを育てる。

### 今年度の取組紹介

子どもたちが環境に興味を示し、主体的にかかわりをもつための環境づくりを行った。今までは、プランターなどで行ってきた栽培活動であったが、子どもたちが日々世話をする中で、変化に気づけるように地域の方と一緒に園庭に畑をつくりました。そして早速、その畑に地域の方に教えてもらいながらサツマイモのつるを植えました。「こんな葉っぱをどうやって植えるのかな」「本当にサツマイモができるのかなあ」と思っていた子どもたちであったが、地域の方に手を添えて植え方を教えてもらい、地域の方に親しみやすさを感じることができました。畑は、毎日子どもたちが目につきやすい場所にあるため、自分から進んで水やりをしたり、生長の様子を友達や先生と話し合ったりする姿が見られました。

秋には、収穫したサツマイモを使って青和小学校2年生と一緒にやきいもパーティーを行った。当日は、つる植えを指導してくださった地域の方も招待し、お兄さん、お姉さんと一緒にイモを洗ったり、食べたりして触れ合うことができ、より親しみを深めることができました。



### 今年度のまとめ

- ・子どもたちの多くは、核家族が多く、取組を通して地域の方、小学生等、様々な年代の方に触れ合うことで、様々な人とかかわる楽しさ、やさしさなどを感じることができました。
- ・年間を通して単発で終わらず、1つの取組を通して計画的、連続的に地域の方等とかかわる機会をもつことができました。
- ・かかわりを重ねるごとに親しみも増し、自分から名前を呼んだり、「またきてね」と楽しみにしたりする姿につながった。子どもたちは、毎回期待しながら参加し、知り得たことや身につけた技能、感じたこと等を生活や遊びに活かそうとするようになった。
- ・特に環境整備では、地域の方と一緒に作業したり地域の方が自分たちのためにしてくださっている姿を見たりすることで、感謝や憧れの気持ちをもつことができ、それを素直に言葉で伝えることができました。

### 来年度に向けて

- ・子どもたちは、継続して地域の方等とかかわることで、経験や体験を広げたり、コミュニケーション能力がより高ったりすると考えられるため、計画的・連続的に事業を進めるようにします。
- ・地域の教育力を生かした活動を保育内容に取り入れ、豊かな経験ができるようにし、活動内容に刺激を受けやってみようとする意欲や思考力を育てていきたいです。
- ・取組内容をタイムリーに保護者や地域の方に写真を使って伝え、子どもの育ちや事業内容の理解につなげます。

テーマ

## 『二名大好き 奈良大好き』

目標

様々な感動活動を通して、人とかかわる力を身に付ける。

## 今年度の取組紹介

## &lt;お茶会&gt;

お茶の先生から、「目の前にいる人に心を込めてお茶を点てましょう。」と教えていただき、子どもたちは一生懸命にお茶を点てました。亭主側と客側に分かれ、交代してお茶をいただきました。また、箏を近くで見せていただいたり、子どもたちの指に「爪」をつけて弦を触らせていただいたりしました。たくさんの地域・保護者の協力のもと、わが国の伝統文化に触れる貴重な体験となりました。



## &lt;世界遺産学習&gt;

今年度は奈良公園・春日大社へ行きました。春日大社へ向かう参道で灯籠に掘られている鹿を見つけたり、おんまつりの時、若宮様を深夜行宮へお遷しするときの目印にされる石を教えてもらったりしました。子どもたちは、地域の方とふれ合いながらいろいろな発見をすることができました。素直に感じ吸収することができる幼児期に、自分たちが住んでいる奈良にある文化財にふれる機会をもつことが、小学校以降の学習につながると考えます。また、この取組を通して地域の方との交流をさらに深めることができました。



## 今年度のまとめ

お茶会をはじめ、空手や英語などの事業を通して、地域の方に優しく教えていただいたり見守られたりしながら貴重な体験をすることができました。お花や絵手紙では、楽しみながら作った作品を園内作品展で飾り、たくさんの方に見ていただくことができました。そのことが子どもたちの自信につながりました。ピアノの連弾や和太鼓の生演奏など普段聞くことができない本物に出会うことで、感動体験を子どもたちの心の中に積み重ねることができました。

未就園児や小学生、中学生や地域の方とふれ合う機会を意図的・継続的につくったことで、より親しみを感じ、自分から身近な人にかかわろうとする姿が育ってきています。

## 来年度に向けて

引き続き、地域の方の協力を得ながら、本物にふれる体験を中心に子どもたちの生活が充実するように環境を整えていきたいです。交流が深まるような内容を考え、信頼感や感謝の気持ち、また社会のルールや生きていくための力を身に付けられるようにしていきます。

また、幼稚園が保護者同士の交流や子育てについての相談ができる場となるよう子育て支援の充実を図っていきたいです。